

医療体験 真剣な表情で

製鉄記念病院で室蘭栄高生



顕微鏡で赤血球に異常がないか調べる検査を体験する栄高生

医療職を目指す室蘭栄高の生徒を対象とした1日医療体験実習が、室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院で行われた。

地域医療を担う人材を育てるため旭川医大が道内各地で実施している事業。同病院では11日に行われ、1、2年生計26人が参加した。室蘭市の医療福祉の将来を考えるグループ討議を行った後、医師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師の4コースに分かれ実習した。

このうち臨床検査技師の

コースを選んだ8人は、顕微鏡でがん細胞や赤血球を観察し、超音波エコーで甲状腺や心臓が動く様子を見た。職員から「医学は進歩するのでずっと勉強は必要。検査室の中だけでなく、他部門との連携も大切ですよ」と説明を受けると、真剣な表情でうなずいていた。

2年本間美咲さんは「いろいろな人と連携して病気を発見していることが分かった」と話していた。

(生田憲)